



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社 シード
 コード番号 7743 URL <http://www.seed.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 浦壁 昌広
 (氏名) 片山 和弘

TEL 03-3813-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,775	19.3	684	121.0	691	320.3	551	694.4
29年3月期第1四半期	5,677	16.9	309	225.5	164	77.3	69	182.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 616百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △193百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円銭	円銭	円銭	円銭
30年3月期第1四半期	66.05	—	—	—
29年3月期第1四半期	8.31	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円銭	円銭	
30年3月期第1四半期	30,347	9,394	31.0	1,125.80				
29年3月期	29,222	9,007	30.8	1,079.39				

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 9,394百万円 29年3月期 9,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
29年3月期	—	0.00	—	27.50	27.50
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	27.50	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

注) 平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当22円50銭 記念配当5円 ※設立60周年記念配当
 平成30年3月期期末配当金の内訳 普通配当22円50銭 記念配当5円 ※東証一部指定記念配当

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	13,000	8.1	1,070	39.6	1,050	77.6	680	108.9	81.49
通期	26,500	8.3	1,800	18.5	1,750	28.3	1,150	31.2	137.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	9,112,000 株	29年3月期	9,112,000 株	
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	767,417 株	29年3月期	767,397 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	8,344,588 株	29年3月期1Q	8,344,652 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の2~3ページをご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替相場の安定や海外需要の回復に伴う企業収益の改善を受けて設備投資が回復し、また、雇用所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの傾向が見られる等、緩やかな回復基調の中で推移いたしました。

コンタクトレンズ業界におきましては、視力補正が必要な方々の生活においてコンタクトレンズが“必需品”として定着している環境を背景にして、1日使い捨てタイプへのシフトが続いていることや、遠近両用やサークルレンズの伸長等により、市場は緩やかながら成長基調にあるものと推測されます。しかしながら、新素材商品のラインナップが多様化していることや遠近両用のスペック拡充、サークルレンズカテゴリーへの新規参入の継続等、メーカー間の競合は依然厳しい状態で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、3ヶ年中期経営計画の最終年度となる2018年3月期につきましても、「販売戦略」、「商品戦略」、「生産・開発力強化」、「管理体制強化」を最重要施策として、変化する市場や将来の競争力強化に結実すべく積極的に経営資源を投下しております。

生産棟の新設(3号棟)によるさらなる製造能力の拡大や多品種少量生産への対応力強化、既存商品のスペック拡充等により、国産ならではの開発力、品質・安全性の高さをアピールしてシェア拡大に繋げ、収益性の改善、事業基盤の強化に努めております。また、輸出先の拡大を通じて海外売上の伸長を図っております。

この結果、コンタクトレンズが概ね順調に推移し、また、前期中にコンタクトレンズ小売事業を承継(前期2月より連結に取込み)したことによる効果もあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,775百万円(前年同期比19.3%増)となり、利益につきましても、営業利益684百万円(前年同期比121.0%増)、経常利益691百万円(前年同期比320.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益551百万円(前年同期比694.4%増)と増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(コンタクトレンズ・ケア用品)

純国産使い捨てコンタクトレンズである「ピュアシリーズ」を中心に、国産の品質力やきめ細やかな対応力を国内外に積極的にアピールしてまいりました。また、瞳を際立たせる「シードアイコフレワンデーUV」等サークルレンズにつきましても、国内外において積極的な営業・広告活動を展開してまいりました。

この結果、主力カテゴリーである1日使い捨てコンタクトレンズにおいては、前期より注力しておりますスペック拡充等により「ワンデーピュアシリーズ」の乱視用を中心に伸長しており、前年同期比で17%※の増加となりました。また、サークルレンズの主力商品である「アイコフレワンデーUV」についても前年同期比で約30%※上回りました。

ケア用品につきましても、OEM商材の導入により前年同期を10%以上※上回り、これによりセグメント全体の売上高は6,471百万円(前年同期比20.3%増)と増収となりました。(※比率は卸売ベース)

人件費や物流関連費用等の増加に伴い、販管費全体も増加しておりますものの、粗利率の改善や売上高伸長に伴う粗利益増加により営業利益につきましても、875百万円(前年同期比78.8%増)と増益となりました。

(眼鏡)

主力フレームの「ビビッドムーン」や「プラスミックス」を中心に、新販路の開拓や既存得意先での取引量拡大とともに、眼鏡レンズの販売中止により事業損益の改善に努めてまいりました。

卸売部門では、大型チェーン店での主力フレーム春夏新作モデルの配荷もあり、ほぼ前年同期並みの売上でありましたものの、子会社の小売部門は収益力改善の途上であり、売上高は228百万円(前年同期比2.9%減)、営業損失4百万円(前年同期営業損失5百万円)と若干の改善に留まりました。

(その他)

その他につきましても、売上高は75百万円(前年同期比16.7%増)、営業損失6百万円(前年同期営業損失16百万円)と改善を図れました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、30,347百万円となり、前連結会計年度末から1,125百万円増加いたしました。主な要因として、保育施設開設に伴う土地の取得や鴻巣研究所3号棟建設に伴う建設仮勘定の増加により有形固定資産が666百万円(15,853百万円から16,520百万円)増加したことや、売上高の増加や債権の回収により現金及び預金が639百万円(1,877百万円から2,516百万円)増加したことが挙げられます。

負債につきましては、20,953百万円となり、前連結会計年度末から737百万円の増加となりました。主な要因は、3号棟建設に伴い設備関係支払手形が666百万円(51百万円から717百万円)増加したことによるものであります。

純資産につきましては、9,394百万円となり、前連結会計年度末から387百万円の増加となりました。主な要因として、増益により利益剰余金が増加したことが挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、2,516百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,587百万円(前年同期599百万円の収入)となりました。資金増加の主な要因は、売上債権の減少109百万円や仕入債務の増加199百万円が挙げられます。また、資金減少の主な要因は、賞与引当金の減少164百万円や法人税等の支払い343百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、506百万円(前年同期381百万円の支出)となりました。これは主に、保育施設開設や鴻巣研究所3号棟建設に伴う有形固定資産の取得475百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、446百万円(前年同期147百万円の収入)となりました。資金増加の主な要因は、短期借入金の純増加額630百万円が挙げられます。また、資金減少の主な要因は、長期借入金の返済515百万円やリース債務の支払い338百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期(以降)において、国内外での活発な広告宣伝費投下やシステム関連費用の計上を予定しており、また、第1四半期において未実施となっている研究開発投資や新規商材に纏わる費用投下等も勘案しまして、平成29年5月10日の「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,877,832	2,516,949
受取手形及び売掛金	3,869,628	3,760,450
商品及び製品	3,124,276	3,126,228
仕掛品	250,597	199,029
原材料及び貯蔵品	477,398	509,453
未収入金	356,040	437,262
その他	883,970	635,768
貸倒引当金	△126,392	△70,429
流動資産合計	10,713,352	11,114,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,164,065	6,059,313
機械装置及び運搬具(純額)	1,019,608	1,007,486
土地	3,804,938	4,041,438
リース資産(純額)	3,878,931	3,644,428
建設仮勘定	706,222	1,484,130
その他(純額)	280,097	283,398
有形固定資産合計	15,853,864	16,520,196
無形固定資産		
のれん	1,020,833	977,083
その他	56,448	64,718
無形固定資産合計	1,077,281	1,041,801
投資その他の資産	1,578,010	1,670,933
固定資産合計	18,509,156	19,232,930
資産合計	29,222,508	30,347,644

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	927,208	1,126,486
短期借入金	7,078,396	7,580,236
リース債務	1,398,457	1,316,857
未払法人税等	390,464	100,584
未払金	1,586,732	1,772,128
賞与引当金	405,633	241,111
設備関係支払手形	51,296	717,731
製品保証引当金	44,800	43,570
その他	185,508	437,622
流動負債合計	12,068,499	13,336,329
固定負債		
長期借入金	3,575,975	3,198,836
リース債務	2,774,613	2,615,359
退職給付に係る負債	1,617,225	1,620,820
役員退職慰労引当金	74,000	76,746
資産除去債務	100,060	100,144
その他	5,092	5,092
固定負債合計	8,146,966	7,616,999
負債合計	20,215,465	20,953,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	3,546,560	3,546,560
利益剰余金	3,913,299	4,234,988
自己株式	△435,989	△436,031
株主資本合計	8,865,150	9,186,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	225,280	271,815
繰延ヘッジ損益	25,949	34,241
為替換算調整勘定	26,549	28,113
退職給付に係る調整累計額	△135,887	△126,651
その他の包括利益累計額合計	141,893	207,518
純資産合計	9,007,043	9,394,315
負債純資産合計	29,222,508	30,347,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,677,966	6,775,920
売上原価	3,376,997	3,829,368
売上総利益	2,300,969	2,946,552
販売費及び一般管理費	1,991,309	2,262,358
営業利益	309,659	684,193
営業外収益		
受取利息	661	9,508
受取配当金	3,331	3,549
受取賃貸料	5,034	19,726
為替差益	—	2,721
売電収入	9,963	11,289
その他	5,852	10,924
営業外収益合計	24,844	57,719
営業外費用		
支払利息	25,369	28,527
賃貸費用	—	14,556
為替差損	137,980	—
その他	6,626	7,397
営業外費用合計	169,976	50,481
経常利益	164,528	691,431
特別利益		
固定資産売却益	31	1,009
特別利益合計	31	1,009
特別損失		
固定資産除却損	32,826	—
固定資産売却損	2,525	—
特別損失合計	35,352	—
税金等調整前四半期純利益	129,206	692,440
法人税、住民税及び事業税	13,877	84,438
法人税等調整額	45,946	56,837
法人税等合計	59,823	141,275
四半期純利益	69,383	551,165
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,383	551,165

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	69,383	551,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,240	46,534
繰延ヘッジ損益	△264,913	8,291
為替換算調整勘定	19,192	1,564
退職給付に係る調整額	8,871	9,235
その他の包括利益合計	△263,090	65,625
四半期包括利益	△193,706	616,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△193,706	616,790
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	129,206	692,440
減価償却費	433,573	472,168
のれん償却額	—	43,749
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△366	△56,233
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,257	16,901
賞与引当金の増減額(△は減少)	△145,463	△164,522
製品保証引当金の増減額(△は減少)	7,300	△1,230
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11,834	2,746
受取利息及び受取配当金	△3,993	△13,057
支払利息	25,369	28,527
固定資産除却損	32,826	—
固定資産売却損益(△は益)	2,494	△1,009
売上債権の増減額(△は増加)	251,817	109,365
たな卸資産の増減額(△は増加)	14,642	17,560
未収入金の増減額(△は増加)	△9,274	△81,222
仕入債務の増減額(△は減少)	315,754	199,278
未払金の増減額(△は減少)	130,159	161,409
未払消費税等の増減額(△は減少)	△474,669	357,506
その他	154,851	161,842
小計	854,652	1,946,222
利息及び配当金の受取額	3,993	13,057
利息の支払額	△25,332	△28,692
法人税等の支払額	△233,785	△343,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	599,527	1,587,072
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△371,909	△475,041
有形固定資産の売却による収入	—	9,195
投資有価証券の取得による支出	△10,678	△10,208
貸付けによる支出	—	△10,200
貸付金の回収による収入	2,102	12,516
敷金及び保証金の差入による支出	△270	△24,918
敷金及び保証金の回収による収入	100	575
その他	△502	△8,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△381,157	△506,803
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	806,333	630,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△558,457	△515,350
配当金の支払額	△174,435	△222,161
自己株式の取得による支出	—	△41
リース債務の返済による支出	△226,148	△338,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	147,291	△446,549
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29,320	5,398
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	336,341	639,116
現金及び現金同等物の期首残高	2,028,853	1,877,832
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,365,194	2,516,949

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,377,780	235,381	5,613,161	64,805	5,677,966
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,377,780	235,381	5,613,161	64,805	5,677,966
セグメント利益又は損失(△)	489,516	△5,627	483,889	△16,480	467,409

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	483,889
「その他」の区分の利益	△16,480
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△157,749
四半期連結損益計算書の営業利益	309,659

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,471,829	228,456	6,700,285	75,635	6,775,920
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,471,829	228,456	6,700,285	75,635	6,775,920
セグメント利益又は損失(△)	875,346	△4,840	870,505	△6,893	863,612

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	870,505
「その他」の区分の利益	△6,893
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△179,418
四半期連結損益計算書の営業利益	684,193

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。